

# 歯科用ハンドピース チェックメンテナンス

故障かな?と思ったら再度確認をお願いします。

⇒故障を未然に防ぐため、バーは半挿しのまま使用せず、突き当たるまで確実に挿入してください。

## ●症状1：バーを保持しない（スカスカ）

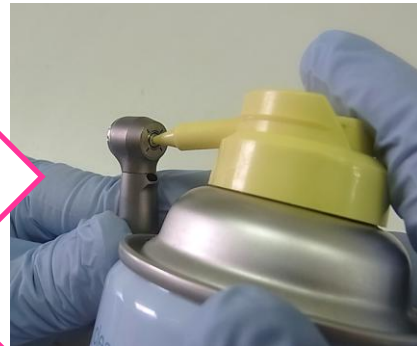
### <原因>

バーに、ごみや切削粉等の異物が付着したまま装着しますと、異物の影響でチャックの動きが悪くなり、チャックが開放状態になる場合があります。

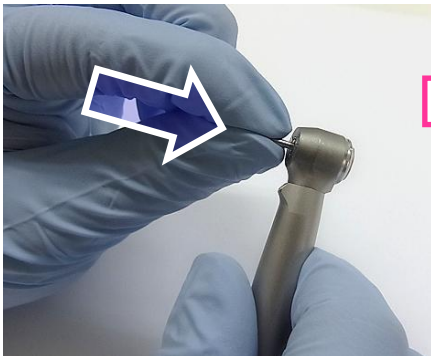
ステップ1  
チャック内部にゴミが入らないように、



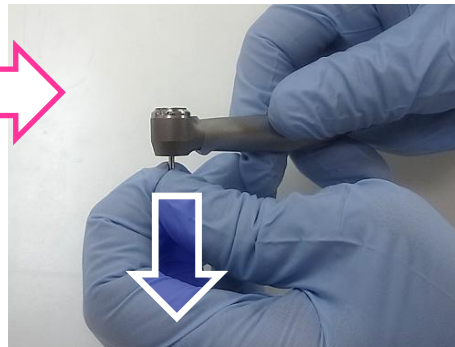
ステップ2  
スプレーノズルを使用して  
チャック部へ注油します。



ステップ3  
きれいなテストバーを挿入し、  
突き当てまで強く押し込みます。  
(カチッと部品が動く感触があります)



ステップ4  
挿入されたテストバーを引張り、  
保持されているかを確認します。

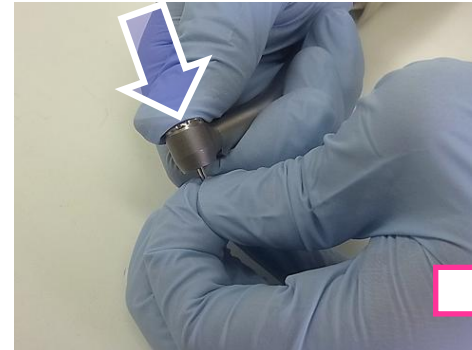


## ●症状2：バーが抜けにくい

### <原因>

重切削によるチャックへの負荷により、バーがかみ込む場合があります。  
また、バーにごみや切削粉等の異物が付着したまま装着しますと、  
異物の影響でチャックの動きが悪くなり、バーがかみ込む場合があります。

ステップ1  
プレスボタンを強く押し込みます。



ステップ2  
それでも抜けにくい場合は、机の角など  
にプレスボタンを押し付けます。  
かみ込みが解除されますと通常通り  
ご使用になれます。



✘ **ペンチなどでバーを  
引き抜かないでください。**  
⇒チャックの爪が摩耗し、  
バー保持力が低下してしまいます。



※1  
上記手順でチャックが回復されない場合や、頻繁に症状が出る場合は、ご購入のディーラまたは(株)ヨシダ営業所へご連絡ください。

※2  
この紙面は、メンテナンスの一部を表したものです。  
ご使用の際は、必ず製品に同梱されている取扱説明書及び添付文書も併せてご確認ください。